

## 特別展示について

### 練習船「あまき」



2025（令和7）年、鳥羽商船同窓会の皆様により修復された練習船「あまき」の模型です。「あまき」は全長34メートル、総トン数300トンの帆船で、鳥羽商船の歴代練習船の中で唯一の帆船として知られています。1917（大正6）年に竣工し、多くの学生が実習に使用しました。

この模型は、大正時代に活躍した練習船「あまき」をかたどったもので、30年以上にわたり校内の実験室で保管されていたものです。修復にあたっては、当時の写真などを参考にしながら、3年の歳月をかけて丁寧に復元されました。

### 実習船「しろちどり」



三重県立水産高等学校の四代目実習船「しろちどり」は、水産・海洋教育を支える実習船として建造されました。全長62.84メートル、総トン数592トンの遠洋型実習船で、カツオ一本釣り漁業に対応した設備を備え、国際航海が可能な第三種船です。

本船は2024（令和6）年3月14日に竣工し、最大69名が乗船し、船内には活餌兼保冷魚艙やブライン艙など、実際の漁船に近い設備が整えられており、現場に即した知識と技術を体験的に学ぶことができます。

この模型は、2026（令和8）年3月に展示用として紙製で制作されました。

伊勢志摩国立公園指定 80 周年記念事業

## 帆船「日本丸」

### 歓迎式典・体験乗船会・船絵馬奉納



（独立行政法人）海技教育機構



伊勢志摩国立公園  
指定80周年



150th anniversary  
三重県誕生150周年

主催：伊勢志摩国立公園指定80周年記念事業実行委員会

◇歓迎式典・体験乗船会：令和8年4月26日（日）10時～

◇船絵馬奉納：令和8年4月27日（月）9時30分～

## 1 帆船「日本丸」 歓迎式典・体験乗船会スケジュール

■日 時：令和8年4月26日（日）10:00～16:00

■会 場：鳥羽マリンターミナル及び鳥羽港沖停泊 帆船「日本丸」

### 歓迎式典 10:00～10:50

- ・開会
- ・歓迎の言葉  
伊勢志摩国立公園指定80周年記念事業実行委員会会長 山本教和
- ・来賓祝辞
- ・乗組員紹介（船長、機関長） 帆船「日本丸」についての紹介
- ・歓迎アトラクション
  - ①『鳥羽コーラスはまおぎ』による歌の披露 「海の歌メドレー」、「海その愛」
  - ②鳥羽物語倶楽部による「鳥羽物語」の踊り披露
- ・船絵馬贈呈  
志摩市立磯部中学校3年 西井うららさん
- ・特別展示紹介  
鳥羽商船高等専門学校 練習帆船 模型「あまき」  
三重県立水産高等学校 実習船 模型「しろちどり」
- ・花束贈呈 環境省伊勢志摩国立公園管理事務所所長 柘植規江
- ・帆船「日本丸」船長より記念品拝受
- ・お礼の言葉 帆船「日本丸」船長
- ・閉会

### 体験乗船会 11:00～16:00

- ・午前の部 11:00～12:15 式典参加者の体験乗船希望者
- ・午後の部
  - ①第1便 受付開始12:30～ 説明、体験乗船13:00～
  - ②第2便 受付開始14:00～ 説明、体験乗船14:30～

### PRブース

- ・鳥羽海上保安部
- ・鳥羽商船高等専門学校同窓会（ふるさとの海を愛する会）
- ・三重県立水産高等学校
- ・三重県誕生150周年



## 2 船絵馬奉納スケジュール

■日 時：令和8年4月27日（月）9:30～10:15

■会 場：青峯山正福寺

### 船絵馬奉納

- ・帆船「日本丸」船長より堀口園世住職へ船絵馬奉納
- ・青峯山正福寺についての解説 鳥羽市教育委員会学芸員 野村史隆氏

## 帆船「日本丸」について



(独立行政法人) 海技教育機構

1984（昭和59）年、50年余りにわたって海の若者を育ててきた初代日本丸の代替船として建造されました。

日本丸は、我が国の建造技術の粋を結集して建造された帆船であり、その性能は航海訓練で遺憾なく発揮されています。また、機関教育にも対応するため、初代日本丸に比べ一回り大型化されました。

航海訓練の途次、国内はもとより外国においても数多くの寄港地で行事に参加し海事思想の普及あるいは国際親善に寄与しています。

- ・就航年：1984（昭和59）年
- ・種類：練習帆船（独法）海技教育機構に所属
- ・目的：将来の船員を育成するための実習・航海訓練
- ・特徴：全長約110.09m、幅13.80m、総トン数2,570 t  
白い船体と整然と並ぶマストが象徴的
- ・愛称：「太平洋の白鳥」



## 船絵馬奉納について



船絵馬を奉納する青峯山正福寺は真言宗の古刹で、本尊の十一面観音は鳥羽市相違の海から鯨の背に乗って現れたと伝わっています。海上の守護として船乗りたちの信仰が篤く、絵馬堂には船を描いた絵馬や写真が多数奉納されています。毎年旧暦1月18日の御船祭には、色とりどりの大漁旗が飾られます。

近年は、鳥羽市松尾町と志摩市磯部町を結ぶ近畿自然歩道「舟神様“青峯山”をたずねるみち」として、ハイカーの人气が高まっています。

2016（平成28）年5月に開催された伊勢志摩サミットに参加されたカナダのトルドー首相は、早くに来日して、サミット前には夫人と一緒に青峯山に登り、正福寺の境内を散策するなどして伊勢志摩地域の魅力を満喫されました。